

パブリックコメント

件名：「小学校学習指導要領案について」

氏名：一般財団法人日本地図センター

職業：団体

住所：東京都目黒区青葉台 4-9-6

電話番号：03-3485-5411（代表）

提出受付番号：201703140000409355

一般財団法人日本地図センターは、昭和 47 年の設立以来、国土地理院刊行地図等の複製頒布をはじめ、地図の刊行及び提供並びに地図に関する調査、研究等を行い、地図利用の普及と地図に関する技術の発展に寄与することを目的とし活動しています。今回の「小学校学習指導要領案」について地理教育の本質的な理解および普及のため、地図の活用が極めて重要であることに鑑み以下のようなパブリックコメントを提出いたします。よろしくご検討いただきますようお願いいたします。

1. 「第 3 学年」における目標および内容について

①該当箇所：p30、1 目標 (1) および p31、2 内容 (1) ア (イ)、(2) ア (ウ)、(4) ア (イ)、3 内容の取扱い (1) イ、(2) イ

②意見：地図帳の使用だけでなく、小学校の段階から中学校や高等学校との連携を見据え、国土地理院刊行の「500 万分 1 日本とその周辺」や 50 万分 1 地方図、20 万分 1 地勢図、2 万 5 千分 1 地形図の使用を明示すべきと考えます。具体的には、p30、1 目標 (1) において、「身近な地域や市区町村の地理的環境，地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子，地域の様子の移り変わりについて，人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに，調査活動，地図帳や国土地理院刊行の 2 万 5 千分 1 地形図など各種の具体的な資料を通して，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。」と下線の部分の加筆を提案します。上記と同様、p31、2 内容 (1) ア (イ)、(2) ア (ウ)、(4) ア (イ)、3 内容の取扱い (1) イ、(2) イについても同様に、「地図帳」だけの記載や「地図など」という記載ではなく国が作成している地図として国土地理院刊行の「500 万分 1 日本とその周辺」や 50 万分 1 地方図、20 万分 1 地勢図、2 万 5 千分 1 地形図の使用を明示し、加筆すべきと考えます。

2. 「第 4 学年」における目標および内容について

①該当箇所：p33、1 目標 (1) および p34、2 内容 (1) ア (イ)、(2) ア (ウ)、(3) ア (イ) (4) ア (ウ)、(5) ア (イ)

②意見：「第 3 学年」と同様に、「地図帳」だけの記載や「地図など」という記載ではなく国が作成している地図として国土地理院刊行の「500 万分 1 日本とその周辺」や 50 万分 1

地方図、20 万分 1 地勢図、2 万 5 千分 1 地形図の使用を明示し、加筆すべきと考えます。

3. 「第 5 学年」における目標および内容について

①該当箇所：P37、1 目標 (1)、2 内容 (1) ア(ウ)、p38、(2) ア (ウ)、(3) ア (エ)、p39、(5) ア (エ)、p40、3 内容の取扱い (1) ア、イ、ウ

②意見：P36、1 目標 (1)、p37、2 内容 (1) ア(ウ)、p38、(3) ア (ウ)、(3) ア (エ)、p39、(5) ア (エ)、に関し、「第 3 学年」や「第 4 学年」と同様に、「地図帳」だけの記載や「地図など」という記載ではなく国が作成している地図として国土地理院刊行の「500 万分 1 日本とその周辺」や 50 万分 1 地方図、20 万分 1 地勢図、2 万 5 千分 1 地形図の使用を明示し、加筆すべきと考えます。また、特に 3 内容の取扱い (1) ア、イ、ウに関して、「領土の範囲」について地図帳や地球儀だけでなく、国が刊行した国土の全体を示した地図として「500 万分 1 日本とその周辺を用い」を加筆すべきと考えます。

4. 「第 6 学年」における目標および内容について

①該当箇所：P41、1 目標 (1)、p43、2 内容 (3) ア(ウ)

②意見：P41、1 目標 (1)、p43、2 内容 (3) ア(ウ)に関し、他学年と同様に、「地図帳」だけの記載や「地図など」という記載ではなく国が作成している地図として国土地理院刊行の「500 万分 1 日本とその周辺」や 50 万分 1 地方図、20 万分 1 地勢図、2 万 5 千分 1 地形図の使用を明示し、加筆すべきと考えます。

5. 「第 3 指導計画の作成と内容の取扱い」について

①該当箇所：P46、1 (3)、p46、2 (2)

②意見：地理的技能に関して小学校卒業までの大まかな到達目標が明示されている点は歓迎しますが、P45、1 (3) の「我が国の 47 都道府県の名称と位置，世界の大陸と主な海洋の名称と位置については，学習内容と関連付けながら，その都度，地図帳や地球儀、国土地理院刊行の「500 万分 1 日本とその周辺」や 50 万分 1 地方図などを使って確認するなどして，小学校卒業までに身に付け活用できるように工夫して指導すること。」と下線の部分を加筆することを提案します。また、p46、2 (2) の「また、全ての学年において，地図帳や国土地理院刊行の地形図を活用すること。」と下線の部分を加筆することを提案します。国土地理院刊行の地形図類は、国が作成したものとして小学校においてはその自然的人文的な空間理解を醸成するためにも、また、各学年の発達段階における地理的技能の習得のためにも「500 万分 1 日本とその周辺」や 50 万分 1 地方図、20 万分 1 地勢図、および学校周辺の 2 万 5 千分 1 地形図は、学校図書館への配架を希望し、それを明示し加筆すべきと考えます。